



南十字星

発行者
クイーンズランド
補習授業校
校長
丸山吉信

海外子女文芸作品

コンクール

海外子女振興財団主催第三十六回海外子女文芸作品コンクールの案内をします。募集要項は海外子女教育振興財団のホームページをお読み下さい。昨年も私たちの補習校から入賞者を出しましたが、今年も入賞できるよう、皆さんの力作を楽しみにしています。補習校での締め切りは六月二十七日です。整理後すぐに東京に送らなければなりませんので、締切日以後のものには残念ながら受付できません。

テーマは、海外生活を題材にしたものであれば自由で、ジャンルは、作文、詩、短歌、俳句の四部門です。ひとり何部門でも応募できますが、作文と詩はひとり一点、短歌と俳句は一人三点以内です。作文の枚数は、小学生が原稿用紙五枚以内、中学生が八枚以内です。詩は小中ともに三枚以内です。補習校からは作文用原稿用紙(財団名が中央に縦に書かれている原稿用紙)と詩用(財団名が右下に横に書かれて

いる原稿用紙)を各一枚と各部門応募用紙を配布します。不足の用紙は、海外子女教育振興財団のホームページからダウンロードして下さい。URLは、<http://www.joes.or.jp/bungei>です。短歌と俳句は、所定の応募用紙に書いて下さい。作文と詩には、応募票を原稿用紙の右上にホッチキスで留めて下さい。提出の際は、コピーを必ず自分で取っておいて下さい。入賞した場合には、「南十字星」用に原稿の提出をお願いする予定です。

理社学習予定

六月六日は理社授業の日になっています(幼稚部を除く)。「社会」を朝八時五〇分から九時一〇分まで学習し、さらに、午後、二時間、理科の学習をします。五校時は十二時五十五分から十三時四十分、六校時は十三時四十五分から十四時三十分になります。教室は朝からR棟になりますので、間違いないように登校して下さい。教科書と昼食を持参して下さい。小一、小二是朝も午後も「せいかつ」の

教科書を使います。小一は「せいかつ(上)」ですが、小二是昨年度後期配布の「せいかつ(下)」の教科書を使いますので、間違えないで下さい。小三から小六は、朝、自分の学年の社会科学教科書を学習し、午後は自分の学年の「理科」の教科書を学習します。中学生は、朝は中一が「地理」、中二が「歴史」、中三が「公民」を学習します。中学生の午後は、全体を二グループに分け、一方が「中二理科」を行っているときは、他方は「歴史」とします。五校時は中一が「中二理科」、中二、中三が「歴史」で、六校時は中二、中三が「中二理科」、中一が「歴史」になります。

午後の学習内容

授業指導案は、別途、ホームページに掲載しますが、ここでは、簡単な内容を紹介しておきます。

小一

〔教科書のページと単元名〕
「せいかつ」(上) 九六ページ 「ふゆをたのしもう」

〔内容と目標〕

風を利用して遊ぶおもちゃを作り、友達と遊ぶ中で、風によって起こる現象の不思議さや、風を利用して遊ぶ楽

しさに気付くことができるようになる。

小二

〔教科書のページと単元名〕
「せいかつ」(下) 四七〜五六ページ
「うごくうごくわたしのおもちゃ」

〔内容と目標〕

ぴゅんぴゅんウサギを作り、作り方を工夫したり、作ったおもちゃで友達と遊んだりして、その感想や気付いたことを発表し合う。

小三―一

〔教科書のページと単元名〕
「たのしい理科三年」 一一二〜一三〇ページ 「じしゃくのふしぎをしらべよう」

〔内容と目標〕

磁石の性質について興味、関心を持ち、それを追求する活動を通して、磁石につくものとかないものとを比較する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、磁石の性質についての見方や考え方を持つことができるようにする。

小三―二

〔教科書のページと単元名〕
「たのしい理科三年」 一一〇〜一二二ページ 「豆電球にあかりをつけよう」

〔内容と目標〕

電気の通り道について興味、関心をもつて追求する活動を通して、電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方、電気を通す物と通さない物を比較する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、電気の回路についての見方や考え方もつことが出来るようにする。

小四

〔教科書のページと単元名〕

「たのしい理科四年」二四～三七ページ

ジ「電池のはたらき」

〔内容と目標〕

電気の働きについて、興味、関心をもつて追求する活動を通して、乾電池のつなぎ方や光電池に当てる光の強さと回路を流れる電流の強さとを関係づける能力を育てるとともに、それについての理解を図り、電気の働きについての見方や考え方を持つことができるようにする。

小五

〔教科書のページと単元名〕

「たのしい理科五年」一八～二九ページ

ジ「生命のつなぎ方(一)植物の発芽」

〔内容と目標〕

植物の発芽について興味、関心をもつて追究する活動を通して、植物の発芽について条件を制御して調べる能

力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生命を尊重する態度を育て、植物の発芽とその条件についての見方や考え方もつことが出来るようにする。

小六

〔教科書のページと単元名〕

「たのしい理科六年」二八～三五ページ

ジ「植物の成長と日光の関わり」

〔内容と目標〕

植物の葉に養分ができるはたらきについて興味、関心をもつて追究する活動を通して、植物の体内のつくりとはたらきについて推論する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生命を尊重する態度を育て、植物のつくりとはたらきについての見方や考え方もつことが出来るようにする。

中学理科

「サイエンス二」エネルギー「電流の性質とその利用」前篇

二回に分けて学習するその前篇である、「人の生活と電気の関係」を学習する。それらを通して、身の回りのエネルギー消費について、考えるきっかけとする。また、後篇につながる再生可能エネルギーの重要性に気付く。

中学午後社会

「歴史」三四ページ～四三ページ

奈良時代と平安時代について、平城京、平安京の都がどのように治められ、どのような文化が生まれたかを考察し、国語で学習する万葉集や枕草子、竹取物語を生み出した時代背景を学ぶ。

掃除時間の設定

六月十三日から掃除の時間を設けることにしました(幼稚部を除く)。十二時二十分から十分間、掃除をしますので、解散がこれまでよりも十分遅くなります。帰りのお迎えは十二時三十分にお願致します。

日本の学校の子供たちは、教室掃除や廊下掃除、階段掃除、トイレ掃除などを班ごとに毎日行っています。これは、自分たちの使う場所をきれいにし、気持ちよく使える状態にするという実利的な目的のためだけでなく、掃除の時間を「学級活動」として、仲間と協力することを学んだり、公衆道徳を身に付けたり、他の人々の役に立つ喜びを学ぶ目的のために教育活動の一環として行われています。

残念ながら、本校では、トイレを汚したまま出てきたり、お弁当のごみを

二階から投げ捨てたりしています。また、最近、あらかじめ教室が汚れていることが多くなっています。このような機会に日本式の掃除タイムによる道徳教育を行いたいと思います。

(以下、志賀内泰弘さんの著書から抜粋)「ゴミを一つ捨てる者は、大切な何かを一つ捨てている。ゴミを一つ捨てる者は、大切な何かを一つ捨っている。

人の目の前でポイツとゴミを捨てる人を、あなたは「信用」できるでしょうか。空き缶を車の窓から中央分離帯へ投げ捨てる人。タバコの吸殻を舗道に捨てる人。その人たちは、実は、自分の一番大切な「信用」を捨てているのです。」

お知らせ

(一) 運動会は、八月十五日(予備日は二十二日)に変更になりました。

(二) 六月十三日から安全のため授業中教室施設をします。遅刻者がいると授業が中断しますので、御協力下さい。

